

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和5年度期末）

1 支援の内容及び効果等（1）

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルスにより中止されていた事業が再開され、事業内容によっては数年ぶりの実施となったが、過去の事例や他地域の取組みを共有するなど適切な支援が行われた結果、各地域が混乱なく事業実施ができていた。・意見交換会やコミュニティ回収に関する情報交換会を実施し、他地域の事例を共有する場を設けるなど、適切な支援ができていた。

2 支援の内容及び効果等（2）

評価項目

- (1) 自由提案による地域支援の支援状況（実績）及び効果等
- (2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる支援状況（実績）及び効果等
- (2-2) フォロー（バックアップ）体制等にかかる支援状況（実績）及び効果等
- (3) 区のマネジメントに対応した取組にかかる支援状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none">・令和5年度の新たな取組みである「地域活動お手伝い体験会」について、ポスター・リーフレット・SNSなど幅広く広報媒体を活用したことにより、スタッフとしてその後も協力される方が現れるなど、新たな担い手の発掘ができていた。・他区のまちづくりセンターとの意見交換会に参加するなど、地域課題解決のための取組みを実施していた。

3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）の状況及び効果等

評価項目

区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）にかかる支援の状況及び効果等

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスターやリーフレットに加えて、SNSで地域活動を身近に感じてもらえる内容の情報発信を行うなど、積極的な広報支援ができていた。 ・ICT講座などデジタル化に向けた取組みを継続的に実施したことにより、担当者間の事務連絡でLINEを活用するなど、地域内でもデジタル化が進んでいる。 ・補助金の申請から会計処理まで、複雑な手続きが多い中、事前に会計事務担当と調整を行うなど、適切な支援ができていた。

4 総合評価【全体】

評価	左記の理由
B	<ul style="list-style-type: none"> ・自主財源の活用、補助金や会計など経理事務、新たな担い手発掘に向けた取組みなど、地域に寄り添った丁寧な支援ができていた。 ・特にSNSを活用した広報の取組みは、ICT講座の成果もあり、地域によっては必要最小限の支援で投稿できるようになっている。 ・新たな取組みとして実施した「お手伝い体験会」に関しては、継続的にスタッフとして従事される方も現れ、新たな担い手発掘に繋がったことは高く評価できる。 ・全体を通して、地域課題を把握し、地域の実情に応じた適切な支援ができていた。

(評価基準)

- S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。
- A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。
- B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。
- C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。